

## 令和3年2月 研修医通信 Vol.108

伊勢赤十字病院 初期臨床研修医 東大貴

二月は逃げるとは上手く喻えたもので、一ヶ月間の地域医療実習はあっという間に過ぎました。本実習を通しての感想を三点ほど記そうと思います。

第一に、様々な内科疾患を学ぶことができました。4月から大学病院血液内科に赴任する私にとって、本当に貴重な経験でした。generalな視点を忘れずにこれからの医師人生を過ごしていきたいと思います。

第二に、限られた医療資源の中で最大の成果を出すことの大切さを感じました。事前確率からすべきことを考えていきますから、病歴や身体所見が非常に重要です。不要な検査や解釈を減らすことができます。そして、医療において真に大切なのはモノではなく、人材(人財)なのだ実感しました。

最後に、地域住民への貢献です。地域住民の生活背景を理解しつつ、最大限の医療を提供する姿はまさに全人的医療を体現しておりました。何のための医療か。医療のゴールは何なのか。それを考える非常に良いきっかけになりました。大好きな三重県南部で、地域力の高い紀南病院で、研修をさせていただき、心から良かったと思います。誠にありがとうございました。



済生会松阪総合病院 初期臨床研修医 中村健吾

1ヶ月間お世話になりました。紀南病院では、救急初期対応や病棟管理を始め、診療所研修、各種手技、搬送業務など幅広く経験させていただきました。研修の中で印象に残ったこととしては、診療所研修で鈴木先生が患者一人一人に対して、非常に親身に寄り添って診察されていたことです。偶然ではありますが、自分が研修を行った同時期にテレビ朝日系列で『にじいろカルテ』という地域医療をテーマに扱ったドラマがやっておりました。診療所研修で訪問した神川診療所は本当にドラマの中の世界とそっくりで、そういった世界での医療を少しでも経験できたことは、これからの医師人生の中でも大変貴重なものとなりました。また、この1ヶ月は病院以外でも地元の居酒屋に行ったり、那智の滝などを観光する中で、地元の人たちの温かさを実感する機会がたくさんあり、非常に充実した研修となりました。このような研修の機会をいただき、大変感謝しております。これからの研修にしっかりと生かしていけるように精進していきたいです。ありがとうございました。



済生会松阪総合病院 初期臨床研修医 福井沙也加

1ヶ月間、紀南病院でお世話になりました。大学時代～研修医の間で、県内たくさんの病院や施設で実習・研修を行わせていただきましたが、東紀州エリアは初めてで、紀南病院での研修をとっても楽しみにしていました。実際に研修をスタートして、まず驚いたのが患者さんの年齢層の高さでした。80代前半の患者さんが若いと思うくらい、90代の患者さんが多いことに驚きました。内科研修では、消化器疾患を中心に診させていただき、検査・治療方針を考える機会をたくさんいただくことができとても勉強になりました。ご高齢でも自宅で最後まで過ごしたいと考える患者さんも多く、病態を考えることと並行して家族の想いを聞いたり、患者さんのふるさとで利用できる医療介護支援を考えたり、他職種の方々と連携を取ったりなど、さまざまな方々との連携が重要であることを改めて感じることができました。

1ヶ月という短い期間ではありましたが、紀南病院で沢山のことを学ぶことができました。この1ヶ月で得た経験を胸に、精進していきます。

最後になりましたが、ご指導いただきました原田先生はじめ、お世話になった皆様、1ヶ月間本当にありがとうございました。

